

みなさまからのきもち

横浜中里学園では、皆さまからのご寄附により充実した生活が送ることができます。
私たちの学園を見つけてくださり、心より感謝しております。これからも
どうかご支援のほどよろしくお願ひいたします。



寄付・寄贈（順不同）

一般社団法人 日本未来スポーツ振興協会 様
一般社団法人 初代タイガーマスク後援会 様
神奈川トヨタ自動車 株式会社 様
株式会社 SL Creations 様
株式会社 王将フードサービス 様
株式会社 小俣組 様
株式会社 サンゲツ 様
株式会社 BACKSTAGE 様
株式会社 j-why 様
株式会社 NIP 様
株式会社 Tigercub 様
株式会社 カレンズ 様
株式会社 ファーストリティリング 様
株式会社 フレーベル館 様
株式会社 ジャストオートシーリング 様
ジブラルタ生命保険 株式会社 様
フィリップモリスジャパン合同会社 様
神奈川レディースオープン実行委員会 様
株式会社 カバタングージ イターナショナル 様
クレイン不動産流通 株式会社 様

一般社団法人 日本未来スポーツ振興協会 様
一満 規子 様
種葉 晴香 様
笠井 佳子 様
原 勝哉 様
佐藤 澄夫 様
坂本 龍馬 様
田中 ゆり 様
東谷 境 様
梅川 一様
片山 哲彦 様
鈴木 節夫 様
工藤 久子 様
岸本 千穂子 様
ナザレ幼稚園 様
久良岐乳幼児院 様
大正堂印房 様
太田屋精肉店 様
ナカムラ青果 様
グラントマ Chie 様

ボランティア・支援者の皆様

ナチュラーレ・ボーノ 様
もえぎの学習支援サポート 様
中山 芳子 様
鈴木 てい子 様

伊藤 昌子 様
檜垣 萌美 様
柴田 和美 様
畠山 純子 様
土屋 美加 様
笠井 佳子 様
根崎 耕一 様
根崎 ちづる 様
天沼 将宏 様
上村 綾子 様



職業ボランティア様 学習ボランティア様

神奈川トヨタ自動車株式会社様 ジブラルタ生命様

日本未来スポーツ振興協会様

◇編集後記 ◇

春の訪れとともに開花する桜には、心がワクワクします。私のワクワクの場所は横浜中里学園の向かいにある中学校の桜。満開時には足の方向が中学校へ向いてしまうほど美しい桜の木です。散り際も美しいといいますが散った花びらが地面に散き詰められた模様も美しいです。また1年、後の木は花を咲かせるための準備に入ります。広報誌でもワクワクを届けられる園の顔でありたいと思っています。いつもご協力くださっている方々、本当にありがとうございます。

(左から) 田中 樹:石塚・中村 女子棟:高山 センターミネ:井戸 男子棟:杉山 事務所:吉村 2023年度広報担当職員

第11号

丘の上便り



「バターは魔法の手」

心理士 近藤 淳実

横浜中里学園では、子どもが休みの日になると、心理士と調理やお菓子作りを一緒にに行うというメニューがあります。結構人気のあるプログラムで、今は枠が空くまで待っていてもらっている状態です。お約束はたったの一つ、“自分で作ってみたいメニューを決める”というものです。プレイセラピーも基本的に同じですが、自分のやりたいことを決めて、それが出来るように心理士がお膳立てをする。最近はユーチューブやインスタで自分の手作りの料理やスイーツをあげている人が多いので、自分の知らない料理やスイーツを“やりたい。”と言ふ子どももいて、私自身がユーチューブで学ばせてもらっています。子ども達は、自分一人では完成させることは難しいが、大人と一緒にできるものあげてきます。無理難題なものを言って、私は家で何度も練習を重ねるものもありますが、私の役割は、その自分だけでは少し難しくてできないものを子どもが完成させるにはどうしたらいいかを考え、ゴールまで導くことだと考えています。

私は料理の中で、鍋でバターを溶かして小麦粉を混ぜ、牛乳を入れてホワイトソースを作る過程がすごく好きです。最初はサラサラ牛乳がふわっと沸き上がりホワイトソースになる瞬間。子ども達が、まるでホワイトソースのように成長することがある。随分古い話になりますが、昔「バターは魔法の手」というコマーシャルがありました。小麦粉をバターがコーティングして、牛乳と化学反応を起こす。私たちが、魔法の手とまではいかなくとも、バターのような支援ができる施設であればいいと思っています。児童養護施設ではそれぞれ事情があって、家族とは一緒に暮らせない子ども達が暮らしています。子ども達が皆、外の社会と接し成長していくのを、バターのように包んで成長を待てる職員でありたいと思っています。

幼年保護会 永年勤続・奨励賞 表彰式

令和5年度
表彰式

幼年保護会 法人本部（横浜家庭学園）にて令和5年
度永年勤続・奨励賞の表彰式が行われました。
横浜中里学園からは2名の職員が表彰されました。

講師 岩佐 哲夫 女子棟GL 大井 恵子

2023年9月22日 職員表彰式の様子（横浜家庭学園にて）

勤続10年表彰 奨励賞表彰

令和5年5月2日 社会保険セミナー研修



講師 中川 和彦様

ジブラルタ生命

今回の社会保険セミナー研修は、仕事で必要というよりも自分のため、将来のためを考える職員研修となりました。仕事をしていく上で自分自身の生活が安定していることが大切だと学び、子どもにもちゃんとした知識を伝えてあげたいです。

令和5年6月6日 食物アレルギー研修



栄養士 講師 安部 拓馬様

横浜市こどもの権利擁護課

今回は、事前にお願いしていたダイエットについてのお話を取り上げていただきました。安部先生のお話は、いつも新しい学びがあります。アレルギーだけではなく、食事のアドバイスなど参考になる内容が多く大変勉強になりました。

令和5年7月4日 アタッチメント研修



講師 井上 真様

横浜いずみ学園 園長

井上先生のお話が大変聞きやすく、実践に基づいていたので言葉に重みがありました。アタッチメントについて事例などを踏まえて分かりやすく話してもらえたので、非常に参考になりました。またぜひ、講師としてお話を聞かせください。

令和5年11月21日 ドメスティックバイオレンス研修



講師 松谷 典子様

エンパワメントかながわ

今回、人としての基本を学ぶ研修となりました。松谷先生のお話はとても分かりやすく楽しく受講できました。1人の人間として、相手を尊重した関わりができるように心がけ、今回の研修で学んだ事を実践し、活かしたいと思います。

令和5年12月12日 地域相談支援についての研修



講師 郡司 孝行様

よこはま包摵相談支援センター

障害福祉サービスのお話を聞き、このような相談支援の場があることを知り、社会に出ていくことに不安のある自立前の子がいたら相談させてもらいたいと思いました。今回の話を忘れずに活用していきたいと思います。

令和6年2月6日 被措置児童等虐待防止研修



講師 村岡 薫様

川崎市こども心理ケアセンターかなで
神奈川県児童福祉施設職員研究会 会長

沢山の施設を経験している村岡先生のお話は、現場目線でとても納得できるお話でした。いろんな角度からの話が聞けたことや、施設の「危うさ」に対する意識レベルについて更に考える機会となりました。

2023.11.5 カワバタランゲージインターナショナル様 アニソンコンサートとお食事のご招待



2023.12.17 クレイン不動産様 お食事の招待



2024.2.24 JALスカミュージアム見学体験



地域ネットワーク会議

Information exchange

2023年11月15日 地域ネットワーク会議

今年度も、地域の関係機関の皆様にお集まりいただき、「地域ネットワーク会議」を開催しました。ご参加いただいた皆様との情報交換だけでなく、現在の横浜中里学園の様子や取り組みを、各桜職員が作成した動画を通して説明させていただきました。動画の中では、屈託なく笑う子どもたちの姿が随所にあり、このなにげない笑顔がある生活を送っているのも、地域の皆様の絶え間ないご協力のおかげだと、あらためて感じる良い機会となりました。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



横浜市こども福祉保健部こどもの権利擁護課
横浜市北部児童相談所・青葉警察署生活安全課
青葉区福祉保健センターこども家庭支援課
青葉区社会福祉協議会・みたけ台町内会長
横浜市立みたけ台小学校・みたけ台中学校
神奈川県立あおば支援学校・上谷本地区主任児童委員
上谷本地区民生委員児童委員協議会

Exhibition of works



第62回 あすなろ作品展が開催されました。
これまで横浜中里学園では「金賞」を獲ることはありましたが、初の「神奈川県知事賞」をいただきました! 受賞した子どもは初めてのトロフィーに大喜びでした。



あすなろ作品展



EVENT CALENDAR 2023-2024

ようやくコロナも落ち着き、横浜中里学園では自粛していた全体行事が復活しました。職員を筆頭に様々な行事を計画し子どもたちは沢山の経験をすることができました。



10
OCTOBER

2023年10月30日
第2回釣りフェス2023
✿誰かかっちゃった たぶん気付いてないでしょ✿

今回は、園長考案、釣りフェス大会が開催されました。学園から近い釣り施設に向かい、釣りフェス大会が始まりました。開始早々、年少棟児童がヒット！全員の釣り堀魂に火が付きました。序盤から連続で釣る子や全くヒットしない子どもも最後まで集中して参加することができました。職員も仕事を忘れ、全力で釣りに集中していました。終わり時間が近くなる頃には、子ども達もコツをつかみ始め、全員が一匹は釣ることが出来ました。最終の結果発表では、一番釣った子は10匹を超え、とても満足そうっていました。釣った鯉は金券に変える事が出来、釣った分の金券を一人ひとり計算しながらおやつやジュースに交換していました。遊びと勉強が一度に経験出来、とてもいい経験になりました。



11
NOVEMBER

2023年11月18日
第54回児童福祉施設駅伝大会
ONE TEAM 心が一つになった駅伝大会 監督：鈴島 大輝

私は今年度、駅伝監督に任命されました。昔からスポーツや身体を動かすことが趣味ではありましたでしたが、入職して1年も経っていない私が大勢の子どもを動かすことは出来るのだろうか…子ども達を引っ張っていくのだろうか…正直とても不安でした。大会2か月前から本番コースを想定した坂道ダッシュや上り坂メニューを練習しましたが、私も「辛い」と思う練習を、子ども達は嫌な顔一つせず前向きな姿勢で練習に取り組んでいました。そんな姿を見て、私も本気で子どもと向き合いました。そして本番、円陣を組みいざ出陣！結果10位に入る大健闘！この2か月間子ども達が本気で練習に励んだ結果だと思います。大会後、「鈴島さんの練習のお陰で早く走ることができたし、来年も頑張りたい！」と話してくれました。私自身も子ども達も自信に繋がった駅伝となりました。ご協力いただきいた委員会の皆さん、職員の皆さんありがとうございました。



12

2023年12月23日
クリスマス会 2023
Yokohama Nakazato Christmas party

毎年恒例のクリスマス会、今年は壮大なイベントになりました。年少棟は歌に合わせてダンスを披露し女子棟は自分で仮装大会を開催、男子棟は子どもが真似をして、どの職員かを当てるクイズを行いました。どの出し物も子ども達が主体となって積極的に楽しく行う事が出来ました。最後のビンゴ大会では、どんなプレゼントが当たるかドキドキしながら画面を見つめる表情が印象的でした。



1

2024年1月28日
餅つき大会 2024
初めての体験にドキドキわくわく！

今年度から餅つきが再開しました。以前は青葉少年捕導員連絡会の方が、白と杵を持参して下さり、お餅を提供して頂いていましたが、今年は職員が事前に地域の餅つきに参加し、ノウハウを学び、職員のみで行いました。初めての試みでしたが、普段お餅が苦手な子も「おいしい！」と絶賛するなどの大成功！目前での餅つきを始めて見る子どもも多く、お餅をつく姿に釘付けでした。



2

2024年2月11日
帰ってきた「けんちゃんラーメン」
第二弾 みんな大好きけんちゃんラーメン

さる小旅行で初出店した「けんちゃんラーメン」が横浜中里学園に帰ってきました！子ども達も職員も待ちに待ったけんちゃんラーメンです。美味しい美味しいとお箸が進み3杯食べる子どもが続出。たくさん作ったスープもチャーシューもスッカラカン！園長ありがとうございました。



2024年3月 卒園式・卒業式

今年の卒業式一番手は、中学校。しかし何度見ても予報は雨…暗くなりそうな気持ちを落ち着かせ考えてみると、参加人数を制限された卒業式に比べたら雨くらいどうってことない！そう思いました。大きな怪我もなく楽しく学校生活を送れた子どもたち。本当におめでとう！

幼稚園卒園 2名 小学校卒業 3名
中学校卒業 2名 高校卒業生 1名



祝 出会い・別れ・旅立ち

卒入を祝う会

2024年3月26日 横浜中里学園 卒入を祝う会

男子3名、女子3名、年少3名、合計9名が今年度進級しました。9名の内、1名は大学へ進学のため、横浜中里学園を退園しました。法人本部からは有馬常務理事、毎年子どもの誕生日に本を寄附して下さる柴田さん、色々な場面で協力してくださっているジブラルタ生命奥澤さんにお越しいただき、卒入を祝う会がはじまりました。子どもたちは、普段の笑い改め、素敵な洋服に身を包み、いつもと違う雰囲気の中、参加していました。各様からのビデオメッセージは優しさと笑いに包まれ、職員や園長が体を張った演技を披露してくれました。今年度卒業生代表、高校3年生からのメッセージは、涙で言葉が詰まりながらも、最後まで用意していた手紙を読むことができました。全ての職員への感謝、普段伝えられないこと、伝えたかったことを一生懸命話してくれた姿は、とても素直で、これから自立していく覚悟を決めた立派な姿でした。

横浜中里学園を退園し大学へ進学する子どもが、代表してスピーチをしてくれました。



卒入を祝う会、あつとい間の時間でした。

終わりの挨拶を、小学生が立派に読みくってくれました。

最後は毎年恒例の全員集合写真です。

男子棟行事 01

本気で挑んだカラオケ＆合唱大会「不協和音」を「協和音」に！



栗山職員の発案により動き出したプロジェクト！ユニット対抗合唱大会。子どもたちは優勝目指して日々練習に取り組んでおり、有馬ホールから聞こえてくる声に本気を感じていました。本番当日、子どもたちの表情が一変！キリッとした表情となり、素晴らしい合唱を届けてくれました。栗山職員：今回、合唱大会を開催するにあたり、子どもたちにえらんだところ全員から文句がでました。先が思いやられる…大丈夫だろうか…と心配になりましたが、「やるなら優勝目指そうよ！」「もっと練習しようよ！」と、子どもたちの意識に変化が見られるようになりました。最近、ユニット内での子どもたちは、お互いの気持ちがしきりに合わず不和が生じたり、意思疎通が上手くいかずいざこざになったり。どうしたらしい関係が構築されるのかを考え「合唱大会」を開催しました。結果、みんなが一つになり来年もやりたい！と言ってくれました。鈴木主任はじめ男子棟職員の皆さんご協力ありがとうございました。

女子棟行事 02

待ちに待った東京ディズニーランドはやっぱり夢の国でした！



数年越しの念願だった「東京ディズニーランド」に行ってきました。園内では、乗りたいアトラクションによって4つの班に分かれて行動。長蛇の列も工夫して楽しながら、一日中夢の国で過ごしました。ハロウィンではそれぞれの仮装に身を包み、町を練り歩く…ことはせずに、リビングでハロウィンパーティーをしました。蜘蛛（の形のグミ）入りジュースや、おばけケーキを用意して、チーム対抗のゲームでいざ対決！お題の歌をモンスターになり切って歌う“モンスター歌謡祭”では、子どもも大人も真剣にモンスターらしさを表現する方法を考えていました。本来のハロウィンの意味とは少し離れた仮装パーティとなりましたが、恥ずかしがり屋の子どもも含めてみんなが楽しめるイベントになりました。

年少棟行事 03

お天気にも恵まれ 広い芝生と色づいた紅葉にほっこりした1日でした！



あいかわ公園に行く前にパン屋に寄り、工場見学後、自分の好きなパンを買って公園でピクニック。天気も良く少し肌寒いながらも原っぱを駆け回り、トランボリンやアスレチックで思う存分身体を動かしました。ダムやジップラインを体験し、牧場で動物とも触れ合いました。初めての牛や羊、牧場独特の匂いに驚く子どももいましたが、牧場で作られたジェラートを食べ、ご満悦の様子でした。

幼年保護会

児童家庭支援センターみたけ



前日はうつて変わり冷え込んだ3月2日、児童家庭支援センターみたけでは「こどもアート」を開催しました。今回は、一般財団法人カルチャーラリーアイ様ご協力のもと、講師に木村裕一先生をお招きし、「『もれぼの窓』をくろう!』というワークショップや移動美術館鑑賞など、本格的にアートに触れるイベントとなりました。枝びきリーガンで作る「こもれびの窓」。みんなそれぞれ唯一無二の窓を作っていました。スカイツリーのような窓や帽子のよう窓など、大人は到底思いつかない作品も。この感性を失わないで欲しいと強く思ったイベントになりました。

